

## ワクチン接種者はどれくらい生き延びられるか？

すべての Covid “ワクチン” の中の Graphene Oxide が、ワクチン接種者を  
徐々に殺している

By Steven Fishman | SOTN

August 10, 2021

私は、私のある友人にこの質問の扱いを任せられた。彼は Mylo Canderian, Ph.D (1938年、ギリシャの Corfu、Milos Iskanderianos 生まれ) といい、2015年に、**グラフィーン酸化物の血液学バイオ兵器としての使用特許**を、開発した人である。

包み隠さず言うと、キャンデリアン博士を、私は「ジェノサイド・グローバリスト」とひそかに呼んでおり、彼は、「ジョージア・ガイドストーンズ」の、あまり論じられない教訓 10——「地上の癌となることなかれ、自然に余地を与えよ」——を信奉する人である。

キャンデリアン博士は、世界保健機関（WHO）の「医学功労者」で、Klaus Schwab と共に、“グレート・リセット”を強く支持しており、2022年のWHOの第2目標である、唯一の世界デジタル通貨を導入している。

キャンデリアン博士は、世界人口の95%は「役立たずの徒食者」で、できるだけ早く、安楽死させるべきだという意見をもっている。

「シカゴや、ボールティモアや、ロサンゼルスの下町を見給え。なぜ、役立たずの徒食者たち (useless eaters) を、狂犬のように始末すべきかが、はっきりわかるはずだ」と、彼は言った。

彼は、批判的人種理論 (Critical Race Theory) を唱える「感染的教育者」に対し、軽蔑を表明し、「ワクチン」こそ、「人間という地上の癌」を終わらせるものだと言っている。

ドクター・キャンデリアンは、「人間という疫病」を世界から撲滅する「フリーメイソン」の義務と責任を、熱心に支持している。

しかし個人的には、彼と私は、ジュネーブの「エミナンス・ドゥ・ヴォ」で出される名物料理——ハミングバード・スープのクリームと、エルクのタン——の共通の愛好者である。

我々は共に、料理の天才、リヴィエールのシェフ、ガストン・セールのファンである。

そこで私はミロに訊ねた、「いったい、〈ワクチンを打った者たち〉は、ひとたび注射した後は、正確なところ、どれくらい生きられると考えたらいいのかね？」

彼は私にある情報を与え、それには **End of Cycle Formula** (サイクル終了の公式) というものがあるのだと言った。

彼は、その計算はとても簡単なのだと説明した。

「The Power of Simplicity だ」と彼は言った。「注射から 〈サイクルの終わり〉 [すなわち死] まで、マキシмум 10 年のサイクルがある」と、彼は説明し、「これを決定するのはとても簡単だ」と言った。

彼は、どんな血液学者でも、顕微鏡で、いやもっと簡単に、電子顕微鏡を使って、数秒でそれを確定できると言った。「**グラフイーン酸化物による、傷ついた(あるいは汚染された)血液のパーセンテージは、サイクルの終わり(死)の計算と相互関係なのだ**」と、彼は真実を明かした。

言い換えると、inoculatee (接種された者——と、彼は、**実験的使用、許可制、優生学、人口削減、致死、注射バイオ兵器**によって注射された者と呼ぶ) は、彼らの血液中に、20% のグラフイーン酸化物の劣化を存在させ、他に加えられた基準値がなければ、8 年間 (10 年から 20% を引き) 生きるであろう。

70% の、グラフイーン酸化物の劣化を発生させている者は、3 年以下 (10 年の 70% 引き) しか生きられないであろう。

Jane Ruby 博士は最近、Stew Peters の podcast インタビューで、劣化した血液が、グラフイーン酸化物にさらされると、どんな様子を見せるかの見本を示した。

Graphene Oxide がどういうものか言っておくと、それは、メッセンジャーRNA スpike 蛋白質とプリオン (伝染性蛋白質?) を構成しており、それらは酸素を求めて、心臓、肺、脳や血液、と争っている。

グラフィーン酸化物は、身体から必要な酸素を奪い、多くの面倒を起こさせる、酸素スポンジで、それだけに限らないが、アナフィラクティック・ショック、毒性血栓症、致命的な肺麻痺、ミトコンドリア癌、それに内膜組織癌がそこに含まれる。

ミロ・キャンデリアン博士の見方は、クラウド・シュワブやビル・ゲイツ、それにビッグファーマの責任者とほぼ同じである：——この者たちのすべてを殺せ！

私はミロに、第2、第3の注射やブースターは、どう作用するのか、そしてそれが「サイクルの終わり」の表にどういう変化を与えるのかを訊ねた。

ミロは応えて言った：——「それは血液学のテストによって、すべて測定できる。その愚か者が、より多くの注射やブースターを打つほど、彼らの血液は、顕微鏡の下で、より悪化し、彼らはより急速に肥やしになるのだよ。」

最後に私は、こんな何十億人もの人々を殺す計画が、このようなエリートの集団によって、どうやってこれほど秘密を保つことができるのか、と訊ねた。

彼の答えはこうだった：——「あんたはフリーメイソンのことを、あまり知らないな？ そうだろう、スティーブ？」

そこで結論が出ることになった。

### [Greatchain 訳注]

これは気の利いた面白い話だが、学術的にも面白い。このミロという血液学者 (hematologist) がウソをついているとは考えられない。これを読むとやはり、大規模に実行されている、この試験的mRNA “ワクチン” 注射について、血液は一度傷つく (汚染する) と、決まった割合で一方向的に劣化し、再生もせず、元には戻らない性質があり、これを知っている者が、世界人口のジェノサイドを狙っているらしいことがわかる。

この事実は、「損傷のある血管は、他の組織や器官のように再生はせず、永遠に損傷を負ったままとなる」と言っている、別の論文「ショック：ワクチンを受けた患者の大多数が、永遠の心臓障害をもつ可能性」に解明されている。

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/210723.pdf>

この両論文の似た結論は——この血液学者が人類の敵、ジェノサイド計画者だということもあって——相互に相手を利用している様子も見えないから、真理であるように思われる。とすると、恐ろしいことだが、前者の論文の解説者が、最後に、「この論者の結論が間違いであってほしい」と言っていたように、この人口削減論者の計算も、どうか間違いであってほしいと私は思う。それとも読者の中には、こんなものを紹介する私自身を、悪者にしたい人がおられるだろうか？

この挿話の注目すべき点は、ミロが、「あんたはフリーメイソンをあまり知らないな？ そうだろう、スティーブ？」と言っているところにある。もちろん、スティーブはその「秘密」=大きな悪の存在は知っているが、その具体的な顔も姿も見えないので、我々に共通のこの質問をしている。フリーメイソン (Freemasonry) とは、イルミナティや New World Order とも区別なく用いられる、トップの見えない悪の集団で、世界の識者でこれを知らない人はいない。しかし現在のコロナ禍を含めて、世界のほとんどすべての問題が、この集団に動かされている。それが巧妙に隠されているために、あたかも問題自体が存在しないように見え、「陰謀論」という言葉ができていく。これにはまた、Great Reset という、世界の覚醒 (革命) に対する反動派の言葉が使われている。今、その歴然たる悪の存在が、ミロ自身の口から明らかになった。